

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

手話通訳派遣事業における客観的な業務システムの課題と今後のあり方を学びました 特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2019年度総会・第15回(通算第27回)大会



6月20日(木)～21日(金)、社会福祉法人長野県聴覚障害者協会(長野県聴覚障がい者情報センター)が主管し、ホテル信濃路と長野市生涯学習センターにて、2019年度総会・施設大会が開催されました。正会員施設52の内51施設から77人、他に賛助会員加え84名の参加がありました。

総会では、2018年度事業報告において厚生労働省の補助事業として電話リレーサービス事業を北信越拠点での長野県、富山県の施設はじめ8施設が加わり、7拠点12カ所にて実施していること、国は公共インフラ化に向けた検討の骨子案を発表し、今後、情報提供施設がどのように関わっていくことになるか、大きな課題になっているとの報告がありました。また8月に北海道に情報提供施設が開所されることが報告されました。全ての議案が承認された後、役員改選が行われました。小中理事長他4名の理事が退任し、新しい理事会に引き継がれました。

施設大会では、「手話通訳派遣事業における客観的な業務システムの課題と今後のあり方」をテーマに青山学院大学の本名信行氏の講演の後、厚生労働省自立振興室室長補佐の塩野勝明氏、全日本ろうあ連盟理事長の石野富志三郎氏、全通研副会長の近藤幸一氏、全国情報提供施設協議会理事の太田裕之氏によるシンポジウムを行いました。手話通訳業務の評価システムにより業務の質を高めていくとともに、手話通訳制度の見直しも進めていかなければならないと議論を深めました。

懇親会では長野の味を堪能しつつ、新たに就任した富山の中橋施設長をはじめ12の施設長の紹介がありました。



翌日のブロック会議では、電話リレーサービスの進捗状況の他、ブロック研修について協議しました。

NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会の新三役は次の通りとなりました。

理事長；川津雅弘氏(埼玉)、副理事長；井澤昭夫氏(大阪・堺)、事務局長；加藤貴雄氏(京都)

来年は、北九州市にて開催されます。

センター利用の実績 5月21日～6月20日

- 来所者合計約697
聴障者約283名、健聴者約414名
- コミュニケーション支援 129件
- ライブラリー貸出 5件
- 相談対応9件 ●部屋貸出46件

★センター運営募金をお寄せ下さい★

郵便振替口座；
00790-0-93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会
よろしくお祈いします。